

日本地域政策学会第2回全国研究大会

大会テーマ「地域再生と市民・自治体の役割」

- 日時：平成15年7月5（土）6日（日）
- 場所：高崎経済大学 一号館
- シンポジウム

平成15年7月6日（日）AM9時30分～PM12時

大会実行委員長 吉田 俊幸（高崎経済大学）

座長解題 大宮 登（高崎経済大学）



座長 大宮 登 教授



FORTY&水津コンサルティングオフィス
代表 水津陽子様



広島県神石町長
宮野元壮様（中央）



日本都市センター
研究室長 井川博 様

総括報告

- 9:00～10:15 住民参加型地域再生の挑戦…地区担当制の導入をめぐる
岩手県藤沢町長 佐藤 守
- 10:15～10:45 自治的コミュニティの構築と近隣政府
日本都市センター研究室長 井川 博

実践報告

- 10:45～11:05 農山村地域における地域再生の取り組み
広島県神石町長 宮野元壮
- 11:05～11:25 地域活性化の試み…人とまちを元気にするコーディネーター
Forty&水津コンサルティングオフィス代表 水津 陽子
- 11:25～11:45 NPO とコミュニティビジネス…住民自治の新たな担い手
NPO 法人シニア SOHO 普及サロン・三鷹代表理事 堀池 喜一郎



第 1 分科会

「自治体の予算編成と政策評価」（責任者 齋藤達三）

政策評価の最終目的は、公共政策の資源配分に直接結びつき、影響を与えることにある。

今日の行政に広く浸透しつつある政策評価が、予算編成システムに組み込まれ、その改革と一体化してどのような役割を担うことが可能か？その具体的なシステム構築は最も困難な課題の 1 つとされているが、この分科会では、近年このシステム化を目指して挑戦し、事業別予算の適用、計画と予算の連携統合、部門別分権型予算方式の採用、新たな独自の試みを進めてきたわが国自治体の事例報告を通して、そのあり方や可能性を広く探って行きたい。

報告者

多治見市役所 企画部企画課 副主幹 鈴木 良平

「多治見市の 統合に基づく庁内分権型の予算編成方式」

宮城県庁 企画部行政評価室長補佐 武者 宏

「宮城県行政評価の予算編成への反映と活用方法」

川西市企画部政策室 主幹 本荘 重弘

「川西市における事業別予算システムの構築と活用」

三重県総務局予算調整課 鈴木 伸幸

「三重県の予算編成システム改革と政策評価」



第 2 分科会

「市町村合併とまちづくり」（責任者 戸所隆・宮崎 正寿）

まちづくり分科会では、全国の自治体を揺り動かしている市町村合併問題について、まちづくりの視点から論議したい。

報告者としては群馬県総務課の布施正明氏と上越市合併推進課の野澤 朗氏の二氏にお願いしている。布施氏は群馬県から万場町・中里村合併協議会事務局長補佐として派遣され、

本年四月に合併してできた神流町の発足に尽力されたご経験を持つ。また、野澤氏はかつて高田市と直江津市が合併して

できた上越市で、現在周辺町村と大規模な合併を推進する課の課長としてご活躍の方である。今回はそうしたお二人のご

経験をお話しいただく予定である。進め方としては先ずお二人市町村合併の事例をご報告いただき、その後、自由に参会

者で討論したい。現在の市町村合併は、工業化社会をリードしたアメリカをモデルとする 20 世紀型都市構造の問題点を

摘出し、21 世紀型都市構造のあり方を考える契機にもなる

う。今日の日本は国土全体が都市化社会になっている。21 世紀型都市にはこれまでの都市の概念では律しきれないものがあると考えられる。そこで、まちづくり分科会では市町村合併を通じて、情報化・分権社会におけるまちづくりの理念・

方向性を地域政策学の視点から多面的に議論していきたい。今回は市町村合併を中心に、多くの方から 21 世紀型都市・まちづくりのあり方を提議していただき、今後の検討・研究に



	<p>発展させる会合にしたい。</p> <p>報告者 布施正明（群馬県総務課勤務）昨年度、群馬県万場町・中里村合併協議会事務局派遣 「神流町」の誕生 ～自治の灯をともし続けるために～ 野澤 朗（新潟県上越市企画部合併推進課長）</p>
	<p style="text-align: center;">第3分科会</p> <p>「地域コミュニティと市民参画」（責任者 大宮登） 市民参画による地域コミュニティ再生の分科会は、今回で3回目になる。今回は、地域やコミュニティ再生の問題を多様な視点から問題提起し、これからの地域コミュニティのあり方をみんなで考えいきたい。午前中のシンポジウムの議論を踏まえて、市民主体の地域再生の可能性を探る。</p> <p>報告者 （社）日本テレワーク協会事務局長 石橋 茂 「テレワーク・SOHOの推進による地域再生」 NHK放送センター 小宮山康朗 「コミュニティビジネスと地域再生」 高崎経済大学教授 佐々木茂 「観光産業とコミュニティ再生」</p> <p><特別参加> FORTY&水津コンサルティングオフィス代表 水津陽子 NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹代表理事 堀池喜一郎 高崎経済大学講師 伊藤亜都子 コメンテーター NPOぐんま代表理事 熊倉浩靖</p>
	<p style="text-align: center;">第4分科会</p> <p>「循環共生型地域産業づくり」（責任者 長谷川秀男） 21世紀を迎え拡大成長型社会の限界が明らかになった今、持続可能な発展を目指す循環共生型地域社会づくりが求められている。地球市民として、自然や人との共生や安全で安心して暮らし続けられるまちづくりを地域産業の振興や地域産業政策のあり方から問い直してみたい。分科会では研究者と実務経験者の事例研究報告と検討を通して、課題とあるべき方向を明らかにする。</p> <p>報告者 東京水産大学教授 中居裕・白銀栄 「水産加工業の負荷問題に対する経営対応を事例別に紹介」 千葉商科大教授 毒島龍一 「21世紀の商店街振興について」（仮題） 東和銀行地域経済研究所所長 木元正司 「農村における観光振興」（仮題） 群馬県産業政策課次長 中山勝文 「産業集積と地域環境」（仮題）</p>

第5分科会

「健康・福祉の地域システムづくり」(責任者 細井雅生)

各自治体における地域福祉計画の策定、介護保険制度の見直しの課題の検討、介護予防を意図した健康日本21の地方計画の策定、さらには障害福祉分野における支援費制度の導入等、社会福祉基礎構造改革は、一応、基礎的制度の整備が一段落し、いよいよ、各自治体における、具体的な運用の段階となった。また、構造改革の柱である、自己責任による福祉サービスの選択的利用を可能とするためのサービス情報提供、苦情解決、サービス評価のあり方の検討は児童、障害者、高齢者すべての福祉分野及び医療分野でそのシステムづくりが急がれているところである。

本分科会では、昨年度に続き、各地で取り組まれているシステムづくりや、直面している課題などを中心に情報交換を行い、より実践的な地域医療・福祉システムの構築を考える場としたい。

報告者

新潟医療福祉大学 丸田秋男

高崎経済大学 熊澤利和

群馬県社会福祉協議会 野口俊明



第6分科会

「地域文化の再生と創出」(責任者 和泉清司)

今日、地域再生には地域個性の再認識が求められており、地域文化はその中核に位置する。

地域文化の中には、歴史・文化・芸術・言語・文学・宗教・民俗・伝統的祭礼・行事・文化財等様々な構成要素を含んでいるが、新たに創出された本分科会ではこれら地域文化の諸要素を洋の東西を問わず、多様な角度から学際的に議論・検討することにより地域文化の再生と創出の政策を模索するものである。

報告者

日本大学 文理学部 山本 質素

「民俗文化と「ふるさと文化」～政策の視点と民俗学の視点」

陸前高田市 地元学 松野 明男

「それぞれの形で」

高崎経済大学 増田 正

「フランスの行政構造と地域文化」～普遍・中心と特殊・周辺の相克～



■個別報告研究：平成 15 年 7 月 5 日（土）AM10 時 30 分～PM4 時 30 分
発表者名簿・報告要旨は大会冊子に



■懇親会：平成 15 年 7 月 5 日（土）PM6 時 30 分～8 時
会 場：高崎市役所 21 階 展望レストラン コートカフェ
約 120 人が交流と情報交換



日本地域政策学会

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300

TEL 027-344-6294

FAX 027-340-7163

✉ hcs-gakkai@tcue.ac.jp